

本書の特長

- ① 上級日本語学習者と日本語指導者に最適の表現文型辞典。
- ② 上級日本語の基礎である「基本表現」を収録。
- ③ 「基本表現」「派生表現」を「対比表現」と比較して、用法がマスターできる。
- ④ 例文が豊富で、学習者に理解しやすく指導者にも役に立つ。
- ⑤ 日本語能力試験、日本留学試験の対策書にもなる。

まえがき

本書は上級を目指す日本語学習者、および、上級日本語学習者、そしてその指導に携わる日本語指導者、また日本語に興味を持つ方々を対象に作成したものです。

上級レベルの日本語をマスターするためには、助詞を含めた表現文型の習得が大きな鍵になっています。しかし、これらの表現文型は国語辞典などで扱われることは少なく、また形の似た類型表現、意味の似た類義表現との違いは、学習者だけでなく、日本語指導者も頭を悩ませるところです。

本書は、「くらべてわかる日本語表現文型ノート」（大阪YWCA日本語教師会発行）の説明をよりわかりやすく書き換え、例文を整理したものです。基本表現55項目を新たに加え、363の表現文型を見出し語としました。それぞれの表現は意味ごとに分類し、例文を付し、接続関係を明らかにしています。また基本表現のバリエーション、すなわち402の派生表現にも言及しています。意味ごとに、類型、類義表現との対比を行い、複雑な意味の違いがわかるよう解説しました。その対比数は延べ621表現に及びます。このように、一つの表現文型の意味を分析し、その一つ一つについて、似た表現との対比を行っていることが本書の特徴といえます。

上級日本語の習得を目指す学習者の「そこが知りたい」という要望に答え、また日本語指導者にとっても、自然な日本語表現の習得に導くための例文を考える一助になることを期待しています。

大阪YWCA専門学校

岡本牧子

氏原庸子

●名詞接続表記

[名詞①]		先生・かばん
[名詞②]		先生の・かばんの
[名詞③]		先生である・かばんである
[名詞④]		先生ではない・かばんではない
[名詞⑤]		先生だ・かばんだ
[名詞⑥]		先生だった・かばんだった
[名詞⑦]		先生な・かばんな
[名詞⑧]		先生なら・かばんなら
[名詞⑨]		先生(十助詞)

- ◆用例 [名詞①]を中心に 先生を中心に
 [名詞①⑨]こそ 先生こそ・先生にこそ
 [名詞③④⑥]かのようだ 先生である/ではない/だったかのようだ
 [名詞③④⑥⑦]十のに+ひきかえ 先生である/ではない/だった/
 なのにひきかえ

● 疑問詞 だれ/どこ/なに/どのように…

● する動詞 いわゆるサ変動詞 掃除する・勉強する…

● 基本表現（見出し語）の表記

A ○○○ B

A…B / A…B

上段は基本表現（見出し語）

下段はその派生表現

A○○B○C

A、B、Cは文、句、語など

(Xは) A○○B (Y)

X、Yは文型以外の文の構成要素

A 1 ○○ A 2

A 1、A 2は同じ品詞で、違う活用形

A ○○○ A

A、Aは同じ品詞で、同じ活用形

● 説明部分の表記

意味1 基本表現の意味の解説。意味が複数ある場合は、意味1、意味2…となる。同じ意味の場合、以下の例文・注意・対比・接続に同じ数字を付す。

例文1 意味解説に対応する例文。①～④まで4文提示。

注意1 意味に付け加える注意事項。

対比1 類型表現や類義表現と比較し、その違いを解説。

・「A…B」(意味1 P○)

対比表現。(意味1)は何番目の意味であるかを、(P○)は掲載ページを表す。(意味1 P○)とないものは、本書では見出し語として取り上げていない。対比表現の下に説明がないものは、示したページに説明がある。

○…正しい例文

×…誤用例文

・「A…B」(意味2 P○)

「A…B、C」(意味1 P○)

対比表現が複数ある場合は、まとめて解説している。

目 次

基本文型／派生	対 比	ページ
あ AあげくB	A(の)結果B、Aた末B、AあまりB、AにもかかわらずB、AうえにB	26
AあげくにB		
AあげくがB		
AあたりB	AにつきB、AごとにB、Aくらい(ぐらい)、AからするとB	28
AあたりのB		
Aあたり		
AあってのB		30
AあまりB	AあげくB	30
AあまりにB		
AたあまりB		
AのあまりB		
い AいかんでB		31
Aいかんだ		
AいかんではB		
AいかんによってB		
AいかんによらずB		
AいかんにかかわらずB		
A以上B	AてまえB、AうえはB、AからにはB、AかぎりB	31
A以上はB		
Aない以上B		
A一方B	AかたわらB、A反面B	33
A一方でB		
A一方だ	Aばかり、Aてばかり	34
A一方でB		
A一方のB		
いまひとつAない		35
いまひとつA		
A以来B	AでからといふものB	35
う AうえでB	AでからB、A際にB、AにあたりB、A上B	36
AうえB		
AうえではB		
AうえにB	AさらにB、AしかもB、AあげくB、AにくわえてB	38
AうえB		
そのうえB		
AうえはB	A以上B、AからにはB、AてまえB	39
AうちにB	AあいだにB、AうちはB、AまえにB、AなかでB	39
AないうちにB		
Aうちに入らない	Aとは言えない	42
Aうる(える)		43
Aえない		
お AおかげでB	AせいいでB	44
Aおかげだ		

基本文型／派生	対 比	ページ
A おきにB	AごとにB	45
A おそれがある		46
おなじ AならB		47
A 折りにB	A際にB、A時にB	47
A折りB		
A折りにはB		
か AかAないかのうちにB	AたとたんにB、Aが早いB、Aや否やB	48
AがAだからB	AもAならBもB	49
AがAだとB		
AがAだからBもB		
AがAだとBもB		
A かえってB	A反対にB、A逆にB	50
A かぎりB	AからにはB、A以上B、Aに限りB、AたところB	51
AかぎりはB		
Aかぎりだ		
AかぎりでB		
A かぎりだ		53
AかぎりB		
AかぎりのB		
A かける	Aはじめる、Aだす、Aかかる	53
A がたい	Aにくい	55
A かたがたB	AをかねてB	55
A がためにB	AばかりにB、AためにB	56
AがためのB		
A かたわらB	AながらB、A一方B	57
A がちだ	Aぎみだ、Aっぽい、Aきらいがある	57
AがちにB		
AがちのB		
A がてらB	AついでにB、AをかねてB	58
A かと思うとB	Aと思うとB、AたとたんにB	60
Aかと思ったらB		
A かねない		61
A かねる		61
A かのようだ	AようにB	62
AかののようなB		
AかのないようにB		
A が早いB	Aや否やB、AかAないかのうちにB、AたとたんにB	63
A からBにかけて	AからBまで	64
AからBにかけての		
A からBまで	AからBにかけて	64
A からある	A以上だ、AものB	65
Aからいる		
Aからする		
AからのB		

基本文型／派生	対 比	ページ
AからいうとB AからいってB	AからするとB、AからみるとB	66
AからしてB	AからするとB	67
AからするとB AからすればB AからしたらB	AからみるとB、AからしてB、AからいうとB、AあたりB	68
AからといってB AからとてB	AといつてもB、AとはいいうもののB、AとてB	69
AからにはB AからはB	AうえはB、AでまえB、A以上B、AかぎりB	69
AからみるとB AからみればB AからみてB AからみてもB	AからいうとB、AからするとB、AにしてみればB	70
AかわりにB AがわりにB		71
き Aきどり AきどりでB		72
Aぎみだ AぎみのB AぎみでB	Aがちだ	72
疑問詞+Aことか 疑問詞+Aやら	疑問詞+Aやら	73
疑問詞+AようがB 疑問詞+AようとB 疑問詞+AようともB	疑問詞+AてもB、疑問詞+AようともB、AようがBようがC	75
Aきらいがある Aきる AきってB	Aがちだ Aつくす、Aぬく	75
Aきわまりない Aきわまる	Aのきわみ	77
く Aくさい AくせにB	Aっぽい AのにB	78
Aくらい(ぐらい)B Aくらい(ぐらい)Bはない Aくらい(ぐらい)ならB Aくらい(ぐらい)だ	AほどB、A(数詞)ばかり、A(数詞)ほど、AあたりB	79
け Aげだ AげなB AげにB	Aそうだ	81
こ AこそB AばこそB Aこそすれ(なれ・あれ)Bない AからこそB	AでこそB、AことこそB、AからこそB、AばこそB、AゆえB	82

基本文型／派生	対 比	ページ
AでこそB		
AにこそB		
AことこそB		
AことからB	AことでB	84
AごときB		85
AごとくB		
AがごときB		
AごときにはB		
Aごとし		
Aことだ	AことだからB、Aものだ、	86
Aこと		
Aのことだ		
(Xは) Aことだ		
AことだからB	Aのことだ。B、AことだしB	88
AことなくB	AことなしにB	89
AことなしにB	AことなくB、AなしにB、AなしでB	89
AことにB		90
AことにはB		
AべきことにB		
AごとにB	AたびにB、AおきにB	91
Aことにする	Aことになる	93
Aことにしている		
Aことになる	Aことにする、Aことになる	94
Aたことになる		
AことはA(が)B	Aないことはない、Aには違いない、AといったらB	95
AはA(が)B		
Aことはない	Aないことはない、Aまでもない	96
Aこともない		
Aことはある		
これといってAはない		97
これといったAはない		
さ		
Aさ	Aみ	97
A最中(さいちゅう)にB	A途中にB	98
A最中(なか)にB		
A際にB	Aに際してB、A時にB、A折りにB、AうえでB	99
A際はB		
A際B		
AさえB	AもB、AすらB、AだにB	100
AでさえB		
AとさえB		
AにさえB		
Aさえしない		
AさえBば	Aが(を・に…)Bさえすれば	102
AさえBたら		

基本文型／派生	対 比	ページ
Aざるをえない	Aずにいられない、Aなければならない、Aわけにはいかない、Aを余儀なくされる	103
し Aしかない	Aよりほかない	104
XはAしかない		
Aでしかない		
A次第B		105
A次第だ	Aというしまつだ	105
Aしまつだ	A次第だ	106
Aというしまつだ		
A上(じょう) B	AうえでB	107
す Aづくめ	Aだらけ、Aづくし	107
Aずじまい		108
Aずにいられない	Aざるをえない、Aないではすまない	108
Aずにはいられない		
Aないではいられない		
Aすら B	AさえB、AだにB	109
A(に・から・で・と・へ)すらB		
Aようとすらしない		
せ AせいでB	AおかげでB、AためにB	110
AせいいかB		
そ AそばからB		110
た Aたが最後B		111
Aたら最後B		
Aたきりだ	AままB、AっぱなしでB、AなりB	112
AたきりBない		
A1たくても A2ない	A1ようにも A2ない、A1に A2ない	112
A1たくとも A2ない		
AだけあってB	AだけにB、AとあってB	113
Aだけのことはある		
AだけにB	AばかりにB、AだけあってB、AとあってB	114
Aだす	Aはじめる、Aかける	115
Aた末B	Aの結果B、AあげくにB	116
Aた末にB		
Aの末(に) B		
ただAのみB	ただAだけだ	117
ただAのみだ		
Aためしがない	Aたことがない	118
たとえAでもB	もしAでもB	118
たとえAようともB		
たとえAとしてもB		
たとえAだとしてもB		
AたところB	AたはずみにB、AかぎりB	119
AたところではB		
AたところでB	AとしたところでB、AとはいえB	120
AといったところでB		

基本文型／派生	対 比	ページ
AたとたんにB AたとたんB	Aかと思うとB、AたはずみにB、AなりB、AとともにB、Aや否やB、 AかAないかのうちにB、Aが早いかB、Aたら、とたんにB	121
AだにB AにだにB	AさえB、AすらB	122
AたはずみにB AたはずみでB	Aた勢いでB、AたところB、AたとたんにB	123
AたびにB AたびごとにB	AにつけB、AごとにB	124
AためにB AためB	AんがためにB、AようにB、Aべきだ、AせいだB、AがためにB	126
AたらAたでB	AならAでB	127
Aだらけ	Aまみれ、Aずくめ	128
AたりともBない	AもBない	129
AたるB AたるものB		129
AたるやB	AといったらB、Aといったらない	130
ち ちょっとしたA		131
つ AつBつ		131
AついでにB	AがてらB	132
Aつきり Aぼっかり		132
Aつくす Aつくせない Aつくし	Aきる、Aぬく	133
Aづけ	Aびたり、Aまみれ	133
Aつけ	Aものだ	134
Aっこない		135
AつつB AつつもB	AながらB	135
Aつつある	Aている	136
Aっぽなし AっぽなしでB	AままB、AたきりBない	137
Aっぽい AっぽくB	Aがちだ、Aらしい、Aくさい	138
て A1てA2ないことはない(がB) A1てA2ないこともない(がB)	Aしようと思えばできる	139
AであれBであれC	AにしてもBにしても、AといいBといいY、AといわずBといわざC	140
AてからでないとB		141
AてからというもののB AてからといふものはB	AてからB、A以来B	141
Aてしょうがない	Aてやまない、Aてたまらない、Aてならない	142
Aてたまらない	Aてしょうがない、Aではたまらない、Aてやまない	143
Aてならない	Aてしょうがない、Aてやまない	144

基本文型／派生	対 比	ページ
AではB、AではB		144
AではB、BではA		
AちゃB、AちゃB		
AではあるまいしB		145
AじゃあるまいしB		
AわけではあるまいしB		
Aではかなわない	Aではたまらない	145
AではじめてB		145
AではじめてのB		
Aではなくてなんだろう		146
Aでなくてなんだろう		
AてまえB	AからにはB、A以上B、AうえはB	146
AでもなくB	AともなくB	147
AでもなしにB		
疑問詞+AでもなくB		
Aでやまない	Aでしょうがない、Aでならない、Aでたまらない	148
と AとBがあいまってC		149
AはBとあいまってC		
AとあってB	AだけあってB、AだけにB、AとあってはB	149
AとあってはB	AとあってB、AにあってはB	151
Aと知ってはB		
Aと聞いてはB		
AといいBといいY	AであれBであれC、AといわずBといわずC	151
Aということだ	Aそうだ、AとかB、Aわけだ、Aというものだ	152
Aのことだ		
Aという		
Aというところだ		153
Aといったところだ		
Aというものだ	XはAものだ、Aということだ	154
Aってものだ		
Aというものではない		155
Aというものでもない		
AというよりBだ		155
AといえどもB	AといつてもB、AとはいえB	156
AといえばB	AといったらB、AときたらB	157
AといえばAがB		
そういうえばB		
AといったらB	AたるやB、AことはA、AといえばB	158
AといったらA(がB)		
Aといったらない	AたるやB	160
Aったらない		
Aといったらありやしない		
AといつてもB	AとはいいうもののB、AとはいえB、AといえどもB、AからといってB	160
AといわずBといわずC	AといいBといいY、AであれBであれC	161

基本文型／派生	対 比	ページ
Aと思いまやB		162
Aかと思いまやB		
AとおりにB	AままB	163
AとおりB		
Aどおり(に)B		
AとかB	Aということだ、Aそうだ、AなりBなり、AやらBやら	164
AとかBとか		
AときたらB	AといえばB	165
Aところ(に・へ・で・を)B	Aばかり	166
Aようとしたところ		
AどころかBも	AばかりでなくBも、AばかりかBも、AはおろかB、Aどころではない	167
AどころかBまで		
AどころかB		
Aところだ		169
Aどころではない	AどころかB、Aなんでものではない、A場合ではない	170
Aどころじゃない		
Aどころの騒ぎではない		
Aところとなつた		171
AところによるとB	AによってB	171
Aところによる		
AところによってB		
AところによればB		
AとしたところでB	AたところでB	172
AとしたってB		
AにしたところでB		
AとしたらB	AたらB	173
AとすればB		
AとしてB		174
AとするB		
AとしたB		
AものとしてB		
AはAとしてB		
AとしてはB	AにしてはB、AなりにB、A側にB、AにしてはB	176
AとしてB		
AとしてもB	AにしてもB、AとてB、A1ようとしてもA2ものではない、	177
A1ようとしてもA2ない	A1ようにもA2ない、A1にA2ない	
AとてB	AからといってB、AとしてもB	179
AこととてB		
AからとてBない		
AとてBない		
Aない(ぬ)こととてB		
AとともにB	AたとたんにB、AにしたがってB、AにつれてB、AにともなってB、 AをもってB	181
Aとは		183

基本文型／派生	対 比	ページ
AとはいいながらB	AとはいうもののB、AといいながらB	183
AとはいえB	AにもかかわらずB、AとはいうもののB、AといえどもB、	184
いくらAとはいえB	AたところでB、AといつてもB	
Aとはかぎらない		186
Aないとはかぎらない		
Aないともかぎらない		
AとばかりにB	AんばかりにB	187
Aとばかりはいえない		188
AともBともつかない	AともBともいえない	188
AともBともつかないC		
AともなくB	AでもなくB	189
AともなしにB		
疑問詞(から・へ・に)ともなくB		
AともなるとB	AとなるとB、AになるとB	189
AともなればB		
AとなるとB		
な AないことにはBない		191
AないことにはB		
Aないことではない(がB)	Aことは(も)ない、AことはA	191
AないこともないがB		
Aないではおかないと	Aないではすまない	192
Aずにはおかないと		
Aないではすまない	Aずにはいられない、Aないではおかないと	193
Aずにはすまない		
AないまでもB		194
Aないものでもない		194
Aないでもない		
AながらB	AままB、AつつB、AかたわらB、AてB	195
AながらのB		
AながらにB		
AながらもB		
AなくしてB	AなしにB	197
AなくしてはB		
AなくしてBない		
AなしでB	AことなしにB、AなしにB、AぬきでB	197
AなしではBない		
AなしにB	AなしでB、AぬきでB、AことなしにB、AなくしてB	198
AなしにはBない		
AもなしにB		
Aなど	AなんかB、AなんてB	200
AなどのB		
Aなみ		201
Aなみの		
Aなみに		

基本文型／派生	対 比	ページ
Aなら AでB Aないなら AないでB	Aたら AたでB	201
AならいざしらずB AはいざしらずB 疑問詞十AかはいざしらずB Aかどうかはいざしらず		201
AならではのB BはAならではだ		202
AなりB AなりBなり	AたとたんにB、Aや否やB、AたきりBない、AままB	203
AなりにB AなりのB	AとかBとか、AようがBようがC	204
AなんかA AなんかB AかなんかB	AとしてはB	205
なんてA なんとA		206
AなんてB Aなんてものではない Aなんてもんじゃない	Aなど、AなんてB	206
に A1にA2ない AにBもなにもあったものではない	A1たくてもA2ない、A1ようとしてもA2ない、A1ようにもA2ない	210
AにBもなにもない		210
Aにあたらない Aにはあたらない	Aにはおよばない	211
AにあたりB AにあたってB AにあたってのB	Aに際してB、Aに臨んでB、AうえでB、AにおいてB	212
AにあってはB AにあってB	AにおいてはB、AとあってはB	213
Aに至る Aに至るまでB Aに至ってB Aに至ってはB Aに至ってもB		214
AにいわせればB AからいわせればB	AがいうにはB、AにしてみればB	215
AにおいてB AにおいてはB AにおいてもB	Aに関してB、AにかけてはB、AにあってはB、AにあたりB	215
Aに応じてB	AによってB	217
AにかかるてはB AにかかったらB		217
AにかかわらずB	AにもかかわらずB、Aを問わずB	218

基本文型／派生	対 比	ページ
Aにかかわる	Aに関してB	219
AにかかわるB		
Aに限ったことではない	Aだけではない、Aに限らずB	219
Aに限ってB		220
Aに限ってはB		
Aに限らずB（もC）	AだけでなくB、AのみならずB、Aに限ったことではない	221
Aに限りB	AかぎりB	221
AにかけてはB	Aに関してB、AにおいてB	222
Aにかたくない		222
AにかわりB		223
AにかわってB		
Aに関してB	AについてB、Aに対してB、AにかかわるB、AにおいてB、 Aに関するB	223
AにかけてはB		
Aにきまっている	Aことにきまっている	224
Aにくい	Aがたい	225
AにくいB		
Aに比べてBはC	Aに対してB、AにひきかえB	226
それに比べてBはC		
AにくわえてB	AだけでなくB、AうえにB	227
AにくわえB		
Aに越したことはない		228
AにこたえてB	AにそってB	228
AにこたえるB		
Aに際してB	Aに臨んでB、A際にB、AにあたりB	229
Aに際しB		
Aに先立ってB		230
Aに先立つB		
Aに先立ちB		
AにしたがってB	AにともなってB、AとともにB、AにつれてB、AにそってB AにしたがいB	230
AにしてB		231
AにしてはB	AとしてはB、A割にB、AにしてもB	233
AにしてみればB	AからみるとB、AにいわせればB	234
AにしてもB	AにしてはB、AにつけB、AとしてもB、AにしてもBにしても、 AにしたってB	235
AにとってもB	AにとってもB	
AにしてもB		
AにしてもBにしても	AであれBであれC、Aにしても、AでもBでも	239
AにせよBにせよ		
AにしろBにしろ		
Aにしのびない	Aにたえない	240
Aにすぎない	Aにほかならない	241
AにすぎないB		
Aに相違ない	Aに間違いない、Aに違いない	241

基本文型／派生	対 比	ページ
Aに即してB Aに即したB	AにそってB	242
AにそってB AにそったB	Aに面してB、AにしたがってB、Aに即してB、AにこたえてB	242
Aに対してもB Aに対するB それに対してB	Aに向かってB、Aに関してB、AについてB、Aに反してB、 AにひきかえB、Aに比べてBはC、AにつきB	244
Aにたえない AにたえるB Aにたえる AにたえないB	Aにしのびない	245
Aに足る		245
Aに違いない	Aに相違ない、Aには違いない	246
AについてB AについてのB AについてはB	Aに対してB、Aに関してB、AにつきB、AをめぐってB	247
AにつきB	Aに対してB、AあたりB、AについてB	247
AにつけB A1につけA2につけB AにつけてもB それにつけてもB なにかにつけB	AたびにB、AにしてもB	249
AにつれてB	AとともにB、AほどにB、AにしたがってB、AにともなってB	250
AにとつてB AにとつてもB AにとつてはB	AにしてもB	251
AにとどまらずB	AばかりかBも、AだけでなくB	251
AにともなってB AにともないB AにともなうB	AとともにB、AほどにB、AにつれてB、AにしたがってB	252
Aに臨んでB Aに臨みB Aに臨んだB	AにあたりB、Aに際してB、Aに面してB	253
Aにはおよばない Aにもおよばない Aもおよばない	Aにあたらない、AはもちろんBもC、Aほどでもない、Aもつかない	254
Aには違いない Aには違いないがB	AことはA、Aに違いない	255
Aに反してB Aに反したB Aに反しB	Aに対してB	256
AにひきかえB それにひきかえB	Aに比べてBはC、Aに対してB、	257
Aにほかならない Aからにほかならない	Aにすぎない	259

基本文型／派生	対 比	ページ
Aに向かってB	Aに面してB、Aに対してB、	259
Aに面してB Aに面したX	Aに向かってB、AにそってB、Aに臨んでB	261
AにもかかわらずB	AとはいいうもののB、AのにB、AとはいえB、AにかかわらずB、 AあげくB、AもかまわずB	262
Aに基づいてB Aに基づきB	AによってB	263
AにもましてB それにもましてB		263
AによってB AによるとB AによればB AによつてはB AによるB	Aに基づいてB、AところによるとB、Aに応じてB	264
AにわたってB AにわたりB AにわたるB AにわたったB	Aを通じてB	265
ぬ AぬきでB AぬきのB AぬきではBない AぬきにしてB	AなしでB、AなしにB、	265
Aぬく AぬいたB	Aきる、Aつくす、Aとおす、Aあげる、Aこむ、Aづける	266
の AのAないのって AのAないのB		268
Aの至り		269
Aのきわみ	Aきわまりない	269
AのみならずB(もC) ひとりAのみならずB	AにかぎらずB	270
AのもとでB Aの名のもとに(で)B		270
は AばBものを	Bのに	271
A場合ではない A場合じゃない	Aどころではない	271
Aはいなめない Aもいなめない		272
AはおろかB(もC) AはおろかBすら AはおろかBさえ	AばかりでなくB(もC)、AばかりかBも、AどころかBも	272
Aばかり Aばかりだ AばかりのB Aたばかり	A一方だ、Aてばかり、AほどB、Aまでだ、Aたところ、Aばかり	273

基本文型／派生	対 比	ページ
Aばかり		
Aばかりもいられない		
Aばかり		
A(数詞)ばかり	Aくらい(ぐらい)B、Aほど	276
AばかりかBも	AばかりでなくB、AにとどまらずB、AはおろかB、AどころかBも	277
AばかりかBまで		
AばかりがBではない	AばかりでBない	278
AばかりでBない	AばかりがBではない	278
AばかりでなくB(もC)	AばかりかBも、AはおろかB、AどころかBも	279
AばかりしていないB		
AばかりにB	AだけにB、AがためにB	280
AばかりにB		
AはさておきB	Aは別にしてB、AはともかくB	280
AはさておいてB		
AかはさておきB		
Aはずがない	Aわけがない	282
Aはずはない		
Aないはずがない		
AはずのないB		
Aばそれまでだ		283
Aたらそれまでだ		
AはともかくB	AはさておきB	284
AはともかくとしてB		
AならともかくB		
AはもちろんBもC	AはもとよりB、Aは言うにおよばずB	285
AはもとよりB	AはもちろんBもC	285
A反面B	A一方B	286
ふ Aぶり		286
AぶりにB		
AぶりのB		
Aっぴり		
へ Aべきだ	AためにB	287
AべきB		
Aべきではない		
Aべし		
AべくB		
Aべからず		
AべからざるB		
AべくしてB		
Aべくもない		
ほ AほどB	Aくらい(ぐらい)B、AばかりのB、A(数詞)ばかり	289
AほどのB		
AほどBない		
A(数詞)ほど		

基本文型／派生	対 比	ページ
AほどにB	AにつれてB、AにともなってB	291
AほどB		
A1ばA2ほどB		
ま Aまい	Aものか	292
Aでは(じゃ)あるまいか		
Aまくる		292
A1てA1てA2まくる		
AまじきB		293
Aまでだ	Aだけだ、Aばかり	293
Aまでのことだ		
Aまでもない	Aことはない	294
AまでもなくB		
AままB	AとおりB、AてB、AながらB、AなりB、AたきりB、Aっぱなし	295
Aまま		
Aのまま		
Aがまま		
Aまみれ	Aだらけ、Aづけ	296
み Aみ	Aき	297
む A向きのB	A用のB、A向けのB	298
(Bは)A向きだ		
A向けB	A向きのB	298
A向けのB		
A向けにB		
め Aめく		299
AめいたB		
AめいてB		
も AもAならBもB	AがAだからB	299
AもBならCもD		
AもBばCもD		
AもかまわずB	AにもかかわらずB	300
AてもかまわずB		
AにもかまわずB		
AもさることながらB		301
AもそこそこにB	Aもほどほどにする	301
Aもそこそにする		
Aもの		302
Aもん		
AものB	Aからある	303
Aものか	だれがAものか、なにがAものか、Aまい、Aものか、Aものではない、	303
Aもんか	Aものかどうか	
Aたものか		
疑問詞+Aものか		
Aてなるものか		
A(が)ないものか		

基本文型／派生	対 比	ページ
A ものがある		306
Aだけのものがある		
A ものかどうか	A ものか	307
A ものだ	Aっけ、Aこと	308
A ものだからB		309
AもんだからB		
A ものではない	Aたものか	310
Aもんじやない		
A ものならB		311
AものならBてみろ		
AものならBてみたい		
A もののB	AにもかかわらずB、AとはいえB、AといつてもB、	311
AとはいいうもののB	AとはいいいながらB、AからといってB	
や A や否やB	AかAないかのうちにB、AたとたんにB、AなりB、Aが早いかB	312
A やらB やら	AとかBとか、AだのBだの	313
AのやらBのやら		
ゆ A ゆえB	AからこそB	315
A ゆえ(に・の)B		
Aがゆえ(に・の)B		
よ A1ようがA2まいがB	AようがBようがC	316
A1ようとA2まいとB		
A1かろう(が・と)A2なかろう(が・と)		
A1だろう(が・と)A2でなかろう(が・と)		
A ようがB ようがC	A1ようがA2まいがB、疑問詞+AようがB、AなりBなり	317
AようとBようとC		
A ようがない		318
A ようもない		
A ようのない		
A ようではないか		318
A ようじやないか		
A てもらおうでは(じゃ)ないか		
A ようにB	Aかのようだ、AためにB	319
A ようだ		
A ようなB		
A ようにする		
A ようになる		
A1ようにもA2ない	A1にA2ない、A1たくてもA2ない、A1ようとしてもA2ない	322
A ようによってはB		323
A ようによる		
A ようものならB		323
A よりほかない	A しかない	324
A よりほか(に・は)ない		
A ほか(に・は)Bない		
A ほか(は)ない		

基本文型／派生	対 比	ページ
わ AわAわ		324
AわBわ(で)C		
Aわけがない	Aはずがない、Aわけにはいかない、Aわけもない	325
Aわけはない		
Aないわけがない		
Aわけない		
Aわけだ	Aはず(だ)、Aということだ	327
Aわけ		
Aわけではない	Aない	328
Aというわけではない		
AわけではないがB		
Aないわけではない		
Aわけに(は)いかない	Aわけがない、Aないわけがない、Aざるをえない	330
Aわけにもいかない		
Aないわけに(は)いかない		
Aのようなわけに(は)いかない		
Aわけもない	Aわけがない、Aわけでもない	331
わけもなくB		
A割にB	AにしてはB、AとしてはB	333
A割にはB		
を AをおいてBない		333
Aをおいてほかにない		
BはAをおいてない		
Aを限りにB	Aを最後にB	334
Aの限り(に・を)B		
Aのを限りにB		
AをかねてB	AがてらB、AかたがたB	335
AとBをかねる		
Aを度切りにB	Aを最初にB	336
Aを皮切りとしてB		
Aを皮切りにしてB		
AをきっかけにB	Aを契機にB	336
AがきっかけでB		
Aを禁じえない		337
Aを契機にB	AをきっかけにB	337
Aを契機としてB		
AをこめてB		337
Aを最後にB	Aを限りにB	338
AをしりめにB	AをよそにB	338
Aを中心B		339
Aを中心としたB		
Aを中心としてB		
Aを通じてB	Aを通してB、AにわたってB	339

基本文型／派生	対 比	ページ
Aを問わずB	AにかかわらずB	340
AをはじめB AをはじめとするB		341
AをめぐってB AをめぐるB Aめぐり	AについてB、Aまわり	342
AをもってB AをもってしてもB AをもってすればB	AでもってB、AとともにB	343
AをもとにB AをもとにしてB		344
AをものともせずB AをものともせずにB		344
Aを余儀なくされる	Aざるをえない	345
AをよそにB	AをしりめにB	345
ん AんがためにB AんがためB AんがためのB	AんとしてB、AのためにB	346
AんとしてB AんとB Aんとしている	AようとB、AんがためにB、Aようとしている	347
AんばかりにB AんばかりのB Aと言わんばかりにB	AとばかりにB	348

注：疑問詞で始まる文型は「ぎ」のところにあります。

A あげく B

AあげくにB/AあげくがB

意味1 Aがエスカレートしてマイナスの結果Bを招いてしまった。

例文1 ①社長は悩み抜いたあげく、競合会社との合併を決断した。

②彼は度重なる校則違反のあげく、ついに退学処分となった。

③彼らは夫婦げんかを繰り返したあげくに、とうとう離婚した。

④彼女はさんざん迷ったあげく、子どもを預けて働きに出ることにした。

注意1 「～あげく」は「あげくの果て」という言葉の副詞的な使い方である。

○ 彼は働きもせず遊んでばかりいて、あげくの果てに家をなくした。

対比1 「A (の) 結果B」

「A (の) 結果B」では、「AあげくB」にみられるAがエスカレートしてマイナスのBになるという制約はない。

○ 一生懸命勉強した結果、大学に合格した。 (プラスの結果)

× 一生懸命勉強したあげく、大学に合格した。 (マイナスの結果)

また、AとBの主語がちがっても文は成立する。

○ 会議の結果、法案は可決された。

× 会議のあげく、法案は可決された。

「Aた末B」(意味1 P.117)

「Aた末B」は、Aが最終的にBという状態になったという意味でBはマイナスでもプラスでもよい。

○ 何回も手術を繰り返した末、彼は健康な体になった。

× 何回も手術を繰り返したあげく、彼は健康な体になった。

「AあまりB」(意味2 P.30)

意味2 あんなに努力や金銭などの代償を払ってAをしたのに期待はずれのBになってしまった。話し手の驚き、落胆、あきれなどの気持ちを伴う。

例文2 ①親の反対を押し切って結婚したあげくに、2カ月で離婚した。

②彼は会社を設立するといって、親類や友人から金を借りまくったあげく、行方をくらましてしまった。

③母は安いといって特売品を買い込んだあげく、冷蔵庫で腐らせてしまうのが常だ。

④二浪までして大学に入ったあげくに、面白くないからやめるなんて思

慮がなさすぎる。

対比2 「AにもかかわらずB」(意味1 P.262)

「AにもかかわらずB」はAから予想される結果がBにこない。単純に「AなのにB」という意味を示す。「AあげくにB」はAに「あんなに代償を払ったのに」という気持ちが含まれる。

- 彼は国立大に合格したにもかかわらず、私立大学を選んだ。
- × 彼は国立大に合格したあげくに、私立大学を選んだ。

意味3 どんな過程を経てBという結果になったかを表す。

例文3 ①プレゼントは考えたあげく、花束にした。

- ②彼女はためらったあげくに、ドアをあけた。
- ③このチケットは6時間並んだあげくにやっと手に入れたものだ。
- ④会社が倒産し、一家離散のあげくに、いま彼は公園で暮らしている。

対比3 「Aた末B」(意味1 P.117)

「AあげくB」からの置き換えは可能である。

意味4 Aに引き続きBという不幸が積み重なる。Aだけでも十分不幸なのにBまで起こり、かわいそう、ついていない…などの話し手の気持ちを表す。

例文4 ①マスコミにさんざん叩かれたあげくに、仕事も失った。

- ②病気になり、リストラのあげく、妻にも逃げられた。
- ③知らない男たちに囲まれ殴られたあげくに、金もとられた。
- ④疲れて帰ってきたあげくが、妻のグチじやたまらん。

(注意4) AとBは関連のない不幸でもいいが、AからBへの時間の流れが必要。

対比4 「AうえにB」(意味1 P.38)

「AうえにB」はAとBが独立したものにも使えるが、「AあげくにB」はAからBへの時間の流れが必要である。

- あの学生はテキストを忘れたうえに、宿題も持てこなかった。
- × あの学生はテキストを忘れたあげくに、宿題も持てこなかった。

「Aた末B」(意味1 P.117)

「AあげくB」はAだけでも十分なのに、そのうえBもだという意味。

「Aた末(に)B」はAの最後にBになったというニュアンス。

- 全財産を巻き上げられたあげく、負債も抱え込まれた。
(財産を取られ、そのうえ借金させられた)

- 全財産を巻き上げられた末に、負債も抱え込まれた。
(財産を取られるという、その経過の最後に借金させられた)

〔接続1~4〕〔動詞一タ形〕あげく

〔名詞②〕あげく

Aあたり B

AあたりのB / Aあたり

意味1 Aの単位に割り当てるときBになる。

〔例文1〕①パーティーの会費は一人あたり3000円だそうだ。

②この番号に電話すると1回あたり10円が寄付される仕組みだ。

③我が家家の1カ月あたりの食費は5万円だ。

④オリンピックメダルの獲得数は人口100万人あたりに換算するとハハマが米国を上回る。

〔注意1〕・Aは基本的には1十助数詞だが、大きい数字はその限りではない。また、慣習的に「1」と認識されているものは「1」を省略することもある。

○ ジャガイモがキロあたり200円で売られていた。

〔対比1〕「AにつきB」(意味2 P.248)

「AにつきB」のAは1単位であると考えられれば半端な数でもよいが、「AあたりB」のAは基本的には「1」のみ。

○ 買い物500円につき1枚抽選券がもらえる。

× 買い物500円あたり1枚抽選券がもらえる。

また、「AにつきB」はAという単位でBが付加されていくという概念を伴う。「AあたりB」は単位に対応した数値のみを表している。

○ この菓子は1袋あたり80カロリーなので、ダイエットしている人向き。

× この菓子は1袋につき80カロリーなので、ダイエットしている人向き。

「AごとにB」(意味4 P.93)

「AごとにB」は長い線上のものをAという単位で区切るという考え方なので変化のあるものにも使えるが、「AあたりB」のAは一つのまと

まりで、そのまゝに対応する数字がBなので変化を伴うものには使えない。

- 山を上ると100メートルごとに0.6度気温が下がる。
- × 山を上ると100メートルあたり0.6度気温が下がる。

(接続1) [名詞①] あたり

意味2 Aの前後、周辺のだいたいのころ、時点、場所、もの。

- (例文2) ①彼は昇進したあたりから体調を崩していたらしい。
 ②学校は駅から10分ほど歩いたあたりにあった。
 ③今日あたり、彼女から連絡があるはずだ。
 ④今度の宴会は、あの店あたりが適当じゃないか。

対比2 「Aくらい(ぐらい)」(意味5 P.81)

だいたいの地点という意味では「Aくらい」と「Aあたり」は同じ。

- マラソンでは37キロくらいから勝負をする。
- マラソンでは37キロあたりから勝負をする。

「Aあたり」は限定した期間や距離に使えない。「Aくらい」は使える。

- 大阪から東京までは550キロメートルくらいだ。
- × 大阪から東京までは550キロメートルあたりだ。

(接続2) [動詞ータ形] あたり

[名詞①] あたり

意味3 AからBが推測できる。Aという状況や様子が普通ではなかつたり、気になったりしてBで何か憶測する表現。

- (例文3) ①我々の話に入ってこないあたり、彼は何かを隠しているみたいだ。
 ②私の顔を見て目を背けるあたり、何かやましいことがあるに違いない。
 ③顔を見て会釈したあたり、彼らは以前から知り合いだったのだろう。
 ④恋人にもらった指輪をはずしているあたり、彼女とは別れたのだろう。

対比3 「AからするとB」(意味1 P.68)

「AからするとB」は推測の根拠は視覚に限らず、五感のいずれでもいいし、伝聞でもよく、接続は名詞のみだが、「AあたりB」の根拠は視覚のみで、接続は動詞のみである。

- このにおいからすると、今晚はカレーライスだな。
- × このにおいがするあたり、今晚はカレーライスだな。

(接続3) [動詞] あたり

A あっての B

意味1 Aが存在するからBが存在する。もしAがなければBも存在しない。

Aから多くの世話、愛、加護、恩恵などを受けていることを表す。

例文1 ①ご両親あっての君なんだ。もっとご両親を大切にしないとだめだよ。

②お客様あってのわが社です。何なりとお申し付けください。

③親会社あっての下請けだから、指示には従わざるをえない。

④この成功は皆さんのご協力あってのことです。

(接続1) [名詞①] あっての [名詞①]

A あまり B**AあまりにB/AあまりB/AのあまりB**

意味1 Aの状態が極限に達した次の状態がBになる。

Aには感覚・感情を表す名詞がくることが多い。

例文1 ①彼は新人賞の授賞式で、感激のあまり、泣きだしてしまった。

②息子の死を知り、老母は悲しみのあまり、その場に倒れた。

③人々は喜びのあまりに、歌いだした。

④痛みのあまり、ついに失神してしまった。

(接続1) [名詞②] あまり

意味2 Aの程度が強すぎ、好ましくない結果や状態Bを招く。

例文2 ①利益を追求するあまり、安全性が軽視されている。

②彼女は酒を飲みすぎたあまりに、動けなくなってしまった。

③親がかわいがるあまりに、子どもがわがままになるケースが多い。

④勉強しすぎたあまりに、病気になってしまった。

(注意2) · Aが単なる動作を表す動詞の場合は「～すぎる」をつける。

対比2 「AあげくB」(意味1 P.26)

「AあまりB (AあまりにB)」はAに程度を伴う言葉が来る。またBに

主体的判断で行うものは来ない。

- 彼女は悩んだあげくに、とうとう病気になってしまった。
- 彼女は悩んだあまりに、とうとう病気になってしまった。
- いろいろ迷ったあげく、大学を中退することにした。
- ✗ いろいろ迷ったあまりに、大学を中退することにした。

(接続2) [動詞ール形／タ形] あまり

A いかんで B

**Aいかんだ／AいかんではB／AいかんによってB／
AいかんによらずB／AいかんにかかわらずB**

意味1 AがどのようであるかでBが決まる。

例文1 ①この商談は相手の決断いかんで決まる。

- ②このテストの点数いかんでは、進級できない場合もある。
- ③結果がわかったら、合否のいかんにかかわらず、連絡してくれ。
- ④今回の検査の結果いかんによって、入院するかどうかがわかる。

(接続1) [名詞①②] いかんで

A 以上 B

A以上はB／Aない以上B

意味1 Aだったら当然Bと、Bで一般論や話し手の意思を表す。

例文1 ①引き受ける以上、責任をもって行うつもりだ。

- ②留学した以上、言葉だけでなくその国の文化も学ぶつもりだ。
- ③防犯に対する住民の不安が大きい以上、対策が必要だ。
- ④機械が相手である以上、故障は避けられない。

(注意1) 「ル形以上」か「タ形以上」かは、話し手の決断する前か後かによる。後文は「～なければならない」「～当たり前だ」「～当然だ」「～べきだ」や、「～つもりだ」「～ようと思う」など、主張や意志を表す文。

対比1 「AてまえB」(意味1 P.147)

「AうえはB」(意味1 P.39)

索引

太字は基本、斜体は派生、細字は対比

あ			
あいだに	40	がーだからーも	49
あげく	26, 30, 38, 262	がーだと	49
あげくが	26	がーだとーも	49
あげくに	26, 117	かーないかのうちに	48, 63, 122, 313
あげる	267	がいうには	215
あたり	28, 28, 68, 81, 93, 248	かえって	50
あたりの	28	かかる	54
あっての	30	がきっかけで	336
あまり	26, 30	かぎり	32, 51, 53, 70, 120, 221
あまりに	30	かぎりだ	51, 53
い		かぎりで	51
いかんだ	31	かぎりの	53
いかんで	31	かぎりは	51
いかんでは	31	かける	53, 116
いかんにかかわらず	31	がごとき	85
いかんによって	31	がたい	55, 225
いかんによらず	31	かたがた	55, 335
いくら~とはいえ	184	がために	56, 127, 280
以上	31, 39, 51, 52, 70, 147	がための	56
以上だ	65	かたわら	33, 57, 195
以上は	31	がちだ	57, 72, 75, 138
一方	33, 57, 286	がちに	57
一方だ	34, 274, 276	がちの	57
一方で	33, 34	がてら	58, 132, 335
一方の	34	かどうかはいざしらず	201
いまひとつ	35	かと思いきや	162
いまひとつない	35	かと思うと	60, 121
以来	35, 142	かと思ったら	60
う		がないものか	303
うえ	36, 38	かなんか	206
うえで	36, 100, 107, 212	かねない	61
うえでは	36	かねる	61
うえに	27, 38, 227	かのようだ	62, 319, 320
うえは	31, 39, 70, 147	かのような	62
うちに	39	かのよう	62
うちに入らない	42	かはさておき	280
うちは	40	が早い	49, 63, 122, 313
うる	43	がまま	295
え		がゆえ	315
えない	43	がゆえに	315
える	43	がゆえの	315
お		からーにかけて	64, 64
おかげだ	44	からーにかけての	64
おかげで	44, 110	からーまで	64, 64
おきに	45, 92	からある	65, 303
おそれがある	46	からいうと	66, 68, 71
おなじーなら	47	からいって	66
折り	47	からいる	65
折りに	47, 100	からいわせれば	215
折りには	47	からこそ	82, 82, 83, 315
か		からしたら	68
がーだから	49, 299	からして	67, 68
		からすら	109

からする	65	こそすれーない	82
からすると	29, 66, 67, 68, 71	こそなれーない	82
からすれば	68	こと	86, 309
からといって	69, 161, 180, 312	ことから	84
からとて	69	ごとき	85
からとて~ない	179	ごときには	85
からには	32, 39, 51, 52, 69, 146	ごとく	85
からにはかならない	259	ことこそ	82, 82
からの	65	ごとし	85
からは	69	ことだ	86, 86
からみると	66, 68, 70, 235	ことだから	86, 88
からみれば	70	ことだし	88
かれみて	70	ことで	84
かれみても	70	こととて	179
かろうがーなかろうが	316	ことなく	89, 90
かろうとーなかろうと	316	ことなしに	89, 89, 197, 199
かわりに	71	ことに	90
がわりに	71	ごとに	28, 46, 91, 125
き		ことにきまっている	224
きっと	76	ことにしている	93
きどり	72	ことにする	93, 94
きどりで	72	ことになる	93, 94, 94, 95
ぎみだ	58, 72	ことには	90
ぎみで	72	ことは	95, 159, 192, 255
ぎみの	72	ことはある	96
疑問詞かはいざしらず	201	ことはない	96, 191, 294
疑問詞からともなく	189	こともない	96, 191
疑問詞ことか	73, 74	こむ	267
疑問詞ても	75	これといったーはない	97
疑問詞でもなく	147	これといってーはない	97
疑問詞にともなく	189	さ	97, 297
疑問詞へともなく	189	際	99
疑問詞ものか	303	最中（さいちゅう）に	98
疑問詞やら	73, 74, 74	際に	37, 47, 99, 229
疑問詞ようが	75, 317	際は	99
疑問詞ようと	75	さえ	100, 109, 123
疑問詞ようとも	75, 75	さえーたら	102
逆に	50	さえーば	102
きらいがある	58, 75	さえしない	100
きる	76, 133, 266	さえすれば	102
きわまりない	77, 270	最中（さなか）に	98
きわまる	77	さらに	38
く		ざるをえない	103, 108, 109, 331, 345
くさい	78, 138	し	
くせに	78	しかない	104, 324
くらい（ぐらい）	79, 29, 276, 289, 290	しかも	38
くらい（ぐらい）ーはない	79	次第	105
くらい（ぐらい）だ	79	次第だ	105, 106
くらい（ぐらい）なら	79	しまつだ	106
け		じゃあるまいか	292
げだ	81	じゃあるまいし	145
結果	26	上	38, 107
げな	81	しようと思えばできる	139
げに	81	す	
こそ	82	数詞ばかり	81, 276, 290
こそあれーない	82	数詞ほど	81, 289